

第4回環境審議会専門部会（家庭系）

海老名市経済環境部資源対策課

平成29年8月8日

有料化を導入した場合のごみ処理コストについて(試算)

歳入 約286,000千円(概算)

- 手数料収入 約5,200円×約55,000世帯＝約286,000千円

歳出 約106,000千円(概算)

- 袋作成費.....約68,000千円
- 販売手数料(8%とした場合)...約22,800千円
- 商工会議所手数料(3%とした場合)...約8,500千円
- 指定袋販売店表示ステッカー...約800千円
- 不法投棄パトロール監視アルバイト賃料...約6,000千円

ごみ減量効果に伴う経費減 約-50,000千円(概算)

※平成27年度可燃ごみ排出量に、想定減量率10%と高座清掃施設組合焼却費(25円/kg)を乗じて算出。

【参考】その他導入時にかかる主な経費

- 分別ガイド印刷・配布委託
- 外国語版分別ガイド翻訳料
- ごみ集積所看板印刷
- 電話対応業務委託

前回のまとめ(有料化導入時の検討事項について)

(1) 有料化対象品目について

- 市民の理解の求めやすさを考慮し、神奈川県内の実施自治体と同様、基本的には「可燃ごみ」と「不燃ごみ」を対象品目とする。

(2) 手数料の減免措置について

- 他市状況を踏まえたうえで、他市並みの減免措置をとることとする。

(3) 手数料徴収方法について

- ごみ排出量に応じた「単純従量制」を採用する。

(4) 指定ごみ袋販売方法について

- 袋の大きさは複数の種類を用意し、欠品が生じないような販売方法とする。
- 品目毎に異なるごみ袋を取り入れるかどうかについては、実務的要素が高いため、行政としても検討が必要。

(5) 手数料設定について(委員意見含む)

- 他市並み(2円/L)がベースであれば大きな根拠となる。収入の使途が明確にできれば問題ない。
- 値上げは市民の抵抗があるが、値下げに異論はない。今後、座間市、綾瀬市も有料化となる場合を考慮すると、最初の手数料設定は相応の額にしておくべき。
- 委員意見において、他市並みの手数料基準とすることで集約された。

(6) 手数料収入の使途について

- 特定財源として、ごみ処理経費に使用する。
- 使途について、広く周知する。

(7) その他

- 有料化、戸別収集の実施にあたり、市民の意識改革を図る対策として、ごみに関する情報を市民に提供するための周知機会が必要である。広報以外にごみの情報誌の配布などを検討すべき。

戸別収集の効果と課題について

得られる効果

- ・排出者責任の明確化
- ・排出抑制効果
- ・高齢者等の負担軽減
- ・事業系一般廃棄物等の不法投棄の減少
- ・ごみ集積所の諸課題の解決
- ・まちの美観の保持

懸念・検討事項

- ・収集コストについて
- ・収集体制について
- ・集合住宅対策について
- ・プライバシーの問題
- ・雇用機会の創出

収集コスト・収集体制について

戸別収集の検討にあたっては、市収集職員のみでは対応ができないため、収集の一部委託などについて検討する必要がある。

また、収集体制（現行では月木・火金コースの2地区収集を採用）についても、現行の体制で可能かどうか検討が必要となる。

戸別収集にかかる委託コスト(試算)について

①世帯数	約55,000世帯
②想定単価(概算)	1日65,000円(車両1台、人件費2名、管理経費、燃料代等)
③不足車両台数	週当たり54台
④想定費用(概算)	54(台) × 50(週) = 2,700台 2,700(台) × 65,000(円) = 175,500,000円

※年末年始に伴う収集時間の延長や、休日・祝日勤務振替等に伴う市職員不足分については除く

【参考】その他導入時にかかる主な経費

- 軽トラック購入費用(狭隘道路用)
- 携帯電話関連費用(連絡用)

集合住宅対策について(西東京市の事例)

(1) 集合住宅優良認定集積所について

- 集合住宅のごみ・資源物集積所について、排出状況が適切かつ清潔に保たれている集積所を優良排出集積所として認定。
- 認定された集積所には認定ステッカーを交付。
- 平成29年1月1日現在、認定調査の結果、24件を優良集積所として認定。



●西東京市掲示用ステッカー

(2) 部屋別収集の実施について

- 有料化実施後、一部の集合住宅では居住者のごみ出しが不適切となったため、部屋別収集という新たな方法を市が提案。
- 部屋別収集とは、集合住宅敷地内のごみ排出場所に部屋番号を明記し、そこにフックなどを取り付けて部屋別に排出する方法。
- 排出者が明確となり、責任をもった適正な排出が促された。

プライバシーの問題

＜一般的に懸念される内容＞

(1)ごみの回収後に、ネットやバケツを出した状態にしておくと、留守だと分かってしまい、防犯上の問題が懸念される。

(2)プライバシーの保護(個人情報に分かってしまうようなごみの出し方)について。



(1)先進市の事例でも、特に大きな問題は起こっていない。
海老名市の戸別収集モデル事業実施の際も大きな問題はなかった。

(2)袋の中を新聞紙で覆い、中身が見えない状態にする、蓋付きのポリバケツ容器を利用するなどの工夫をすることで対応が可能。

雇用機会の創出

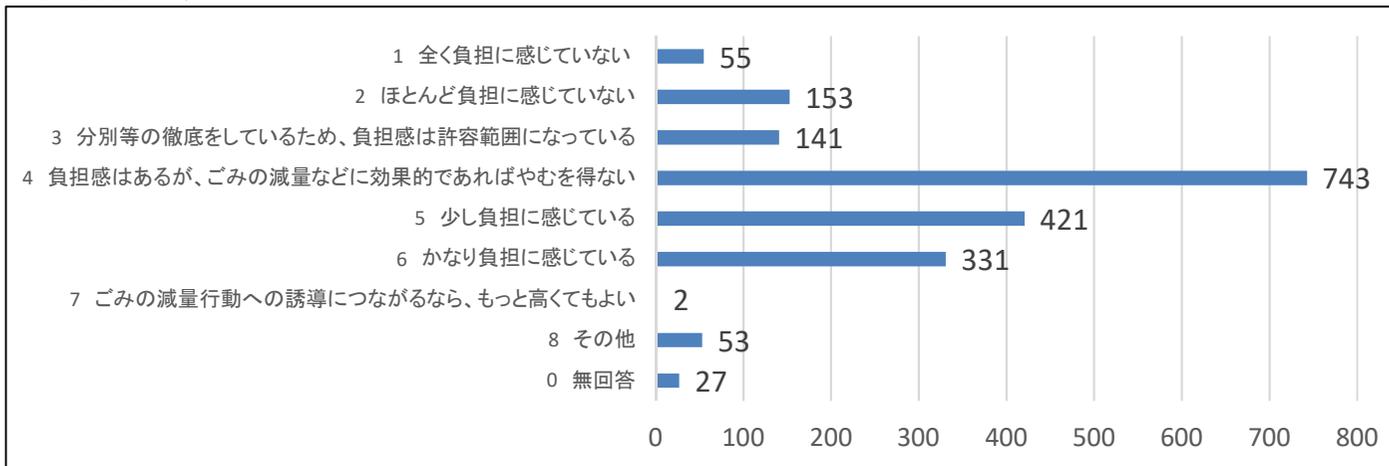
新たな取り組みとして、戸別収集の導入を検討する際、高齢者や障がい者の雇用の場が創出できないか、その可能性についても検討したいと考えている。

有料化、戸別収集実施後の市民アンケート調査結果(西東京市)

西東京市において、有料化、戸別収集実施後1年余が経過した平成21年1月に、効果や課題の検証のために、市内在住18歳以上の男女個人4,000人を対象に実施

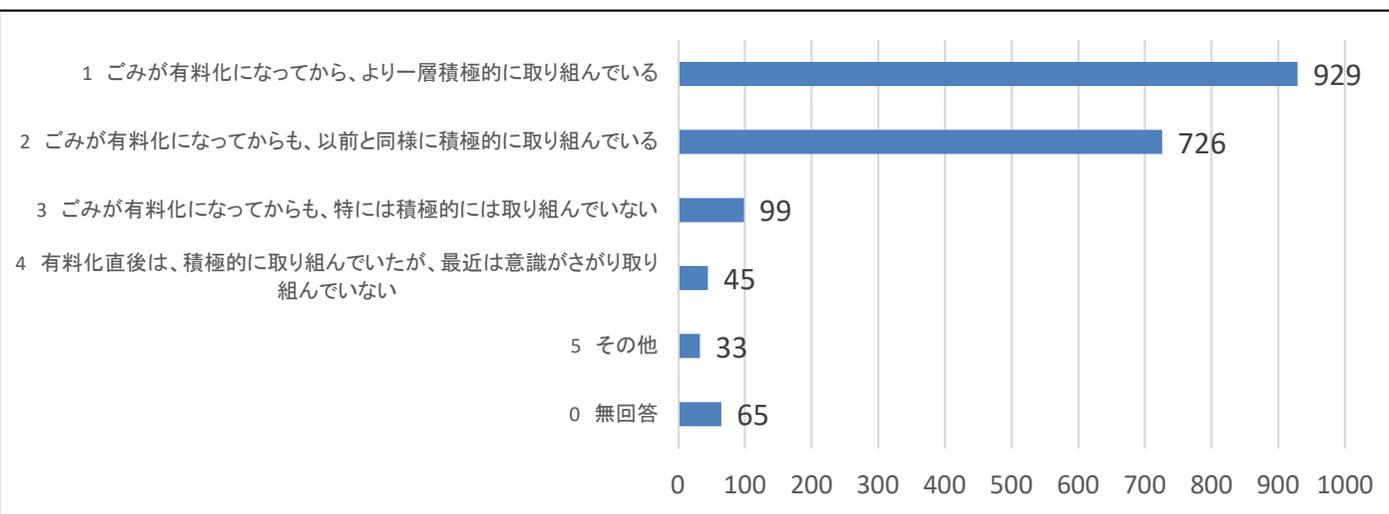
(1) 有料化実施に関するアンケート結果

①あなたは、指定収集袋(ごみ処理経費)の支払いについて負担を感じていますか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。(回答数=1,926)



選択肢	件数	割合
1	55	2.9%
2	153	7.9%
3	141	7.3%
4	743	38.6%
5	421	21.9%
6	331	17.2%
7	2	0.1%
8	53	2.8%
0	27	1.4%
計	1,926	100%

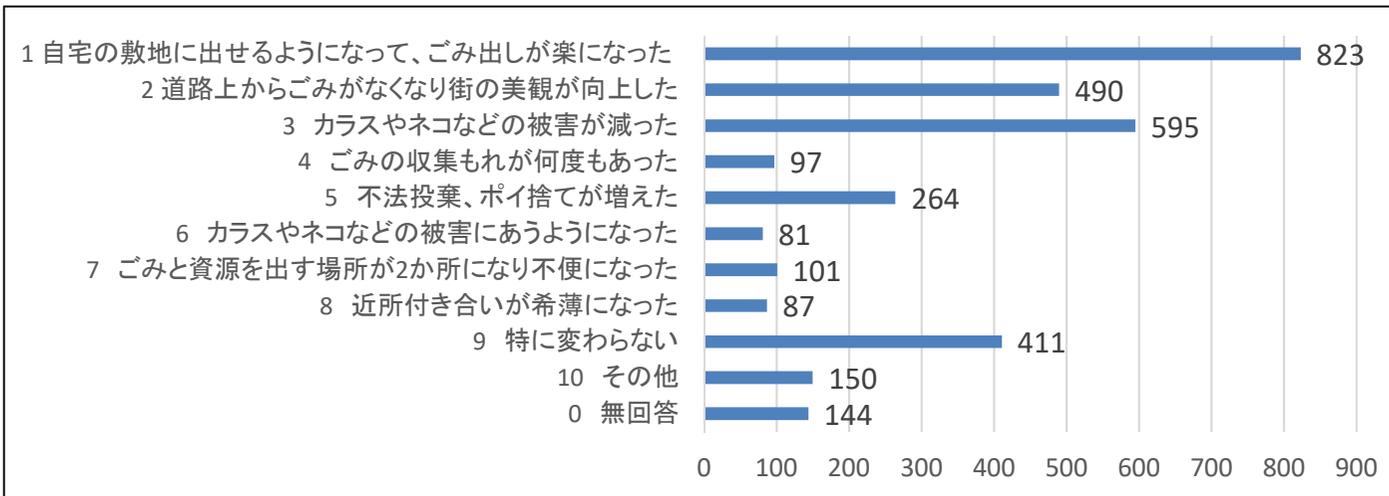
②あなたは、ごみが有料化になってから、ごみの減量やリサイクルの取り組みは変わりましたか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。(回答数=1,897)



選択肢	件数	割合
1	929	49.0%
2	726	38.3%
3	99	5.2%
4	45	2.4%
5	33	1.7%
0	65	3.4%
有効回答数	1,897	100%

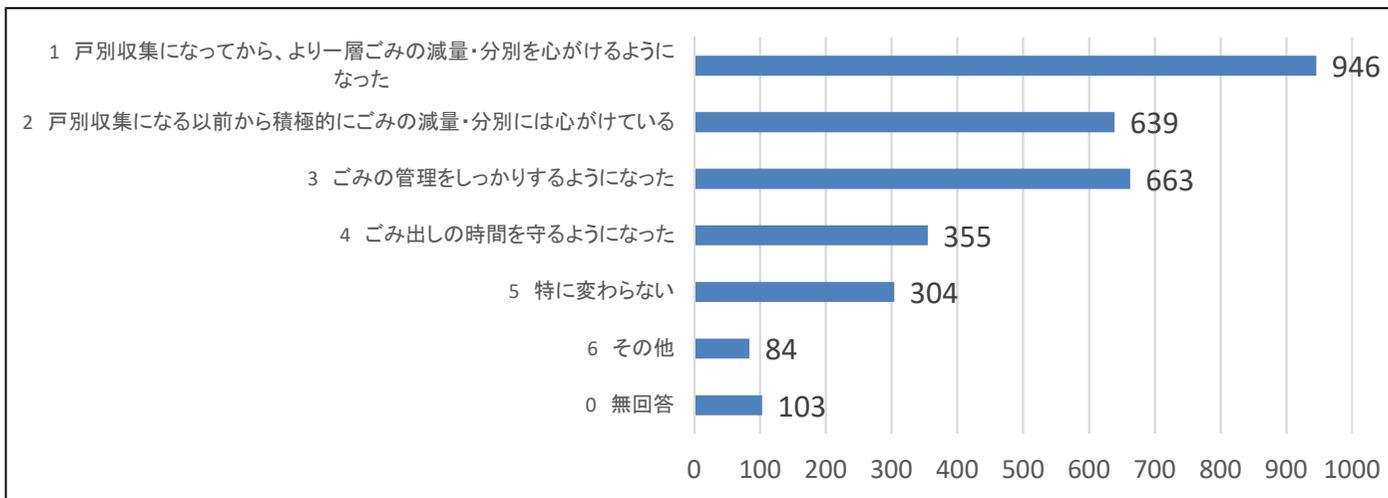
(2) 戸別収集実施に関するアンケート結果

① 戸別収集による効果や影響についてお聞かせください。次の中からあてはまるものを選んで○をしてください。(複数回答可)
(回答数=3,243)



選択肢	件数	割合
1	823	43.5%
2	490	25.9%
3	595	31.4%
4	97	5.1%
5	264	13.9%
6	81	4.3%
7	101	5.3%
8	87	4.6%
9	411	21.7%
10	150	7.9%
0	144	7.6%
有効回答数	1,893	

② 平成19年9月より一部収集方法を変更し戸別収集を実施しましたが、戸別収集実施前に比べてごみの出し方に変わりはありますか。次の中からあてはまるものを選んで回答してください。(複数回答可) (回答数=3,094)



選択肢	件数	割合
1	946	50.0%
2	639	33.8%
3	663	35.0%
4	355	18.8%
5	304	16.1%
6	84	4.4%
0	103	5.4%
有効回答数	1,893	